

作成日 2013年3月25日  
改定日 2022年3月22日

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 BFコート  
製品コード N-1801  
供給者の会社名称 株式会社 豊運  
住所 大阪市東住吉区今川 3 - 12 - 4  
担当部門 技術本部  
電話番号 0494-62-5545  
FAX番号 0494-62-5535  
緊急時の連絡先 (東日本) 0247-54-3232、(西日本) 06-6708-8131  
推奨用途 住宅基礎美装材

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類  
健康に対する有害性 皮膚腐食性/刺激性 区分 2

(注) 上記で記載がない危険有害性は区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素  
絵表示又はシンボル



注意喚起語 警告

危険有害性情報 皮膚刺激

注意書き  
【安全対策】 取り扱い後は手・顔・口をよく洗うこと。  
保護手袋/保護衣/保護長靴/保護眼鏡/保護面/防じんマスクを着用すること。

【応急処置】 特別な処置が必要である。(項目4. 応急措置を参照)

【保管】 保管温度は5℃以下あるいは40℃以上としないようにする。

【廃棄】 内容物/容器を国・都道府県・市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分： 混合物  
化学名又は一般名：

化学名又は一般名	濃度または濃度範囲	官報公示整理番号		CAS No.
		化審法	安衛法	
ビニロン・メタクリル酸・アクリル酸エステル・メタクリル酸エステル系共重合体水性エマルジョン	非公開	不明	不明	-
炭酸カルシウム	非公開	1-122	既存	471 - 34 - 1

- ・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化学物質排出把握管理促進法)の第1種指定化学物質及び第2種指定化学物質には該当しない。

日本接着剤工業会認定ホルムアルデヒド放散等級自主表示制度による登録番号

登録番号	JAIA-011945
放散等級区分	F☆☆☆☆

※アスベストに類する物質は含まない。

## 4. 応急処置

吸入した場合：

速やかに空気の新鮮な場所に移し、咳などが治まらなければ医療処置を受ける。

**皮膚(又は髪)に付着した場合：**

速やかに多量の水又は微温湯で洗い流し、必要に応じて医療処置を受ける。

**眼に入った場合：**

速やかに清浄な水で最低15分間洗眼した後、医療処置を受ける。

**飲み込んだ場合：**

医師の医療処置を受ける。診断を受けるまでの間に牛乳か水を飲ませて吐き出させ

**5. 火災時の措置**

適切な消火剤： 水、強化液、泡、粉末、二酸化炭素  
 使ってはならない消火剤： 情報なし。  
 火災時の特有の危険有害性： 製品自体は可燃物ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。  
 特有の消火方法： 燃焼の際は、火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火を行う。  
 延焼の恐れのないように水スプレーで周辺を冷却する。  
 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置： 適切な保護具（耐熱性衣類など）を着用する。

**6. 漏出時の措置****人体に対する注意事項、保護具及び注意事項：**

回収作業には有機溶剤または化学品が浸透しない保護手袋、保護長靴、保護メガネ、防塵マスクなど適切な保護具を着用する。

**環境に対する注意事項：**

漏出した製品が河川などに排出され、環境中の生物や水質に影響を及ぼさないように注意する。

また濃厚な洗浄水は中和・希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとる。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材：**

流路を毛布、土のうなどを用いてせき止め、大量流出の場合はバキュームなどで汲み上げ、少量流出の場合はおが屑、土砂などを混ぜてモルタル状として、凝固回収する。

多量に流出した場合は、消防・警察・保健所に知らせる。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い****技術的対策、安全取り扱い注意事項：**

眼・皮膚等への接触を避けるために、適切な保護具(保護手袋・保護衣・保護長靴・保護眼鏡・保護面・防じんマスク)を着用する。

破袋等につながらる、粗暴な扱いをしないこと。

取り扱い後は手洗い・洗顔・うがい等を行い、取り扱い場所の近くに洗顔及び洗浄のための設備を設置する。

作業中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を中止し、必要に応じて医師の診察を受ける。

屋内で取り扱う場合は換気に注意する。

**接触回避：**

鉄・銅などの腐食の恐れがある道具・容器は使用しない。

**保管：**

安全な保管条件 凍結・直射日光を避け、室内で保管する。

使用後は直ちに密閉して貯蔵する。

保管温度は5℃以上あるいは40℃以上にとならないようにする。

安全な容器包装材料

鉄・銅などの腐食の恐れがある容器は使用しない。

**8. ばく露防止及び保護措置****許容濃度等**

管理濃度： 設定されていない

**許容濃度：**

日本産業衛生学会（2008年）

第2種粉塵： 設定されていない

**設備対策：**

密閉された装置、機器または局所排気装置を設置し、取り扱うことが望ましい。

取り扱い場所には洗身シャワー、手洗い、洗顔設備を設ける。

**保護具**

呼吸器用保護具： 防じんマスク（吸収缶装着）

手の保護具： 不浸透性保護手袋

眼の保護具： 保護眼鏡（普通眼鏡型・側板付き普通眼鏡型・ゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具： 保護長靴・不浸透性保護衣・保護面

**9. 物理的及び化学的性質****物理的状态**

形状： ペースト状

色：	灰色
臭い：	わずかな有機物臭
融点／凝固点：	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：	約100℃
可燃性：	特定の条件下（乾燥した場合など）で可燃性である
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	データなし
引火点：	データなし
自然発火点：	データなし
分解温度：	データなし
pH：	5～7
動粘性率：	データなし
溶解度：	水に無限大の希釈可能
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧：	データなし
密度及び／又は相対密度：	データなし
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし
その他データ：	爆発性なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性：	自然発火性はない、水との反応性はない。
化学的安定性：	情報なし。
危険有害反応可能性：	現在のところ知見なし。
避けるべき条件：	加熱・高温
混触危険物質：	情報なし。
危険有害な分解生成物：	情報なし。

## 11. 有害性情報

### 化学物質の有害性情報

急性毒性（経口）	情報なし。
（経皮）	情報なし。
（吸入：粉塵・ミスト）：	情報なし。
（吸入：ガス・蒸気）：	情報なし。
皮膚腐食性／刺激性：	皮膚に付着したままにすると炎症を起こす場合がある。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	眼に入ると刺激性がある。
呼吸器感受性, 皮膚感受性：	情報なし。
生殖細胞変異原性：	情報なし。
発がん性：	情報なし。
生殖毒性：	情報なし。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	情報なし。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	情報なし。
誤えん有害性：	情報なし。
水生環境有害性 短期(急性)：	情報なし。
水生環境有害性 長期(慢性)：	情報なし。

## 12. 環境影響情報

生態毒性：	データなし。
残留性・分解性：	データなし。
生態蓄積性：	データなし。
土壌中の移動性：	データなし。
オゾン層への有害性：	データなし。
環境基準：	河川などに流出した場合にはエマルジョン中の樹脂の粘着による呼吸困難により、魚類が死亡する場合がある。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	廃棄物は焼却するか、産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。洗浄水などの廃水は、凝集沈降、活性汚泥などの処理により洗浄してから排出する。この時水質汚濁防止法に注意する。
汚染容器及び包装：	内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処分する。 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

国際規制 国連番号	該当しない
--------------	-------

海上規制情報 該当しない  
航空規制情報 該当しない

## 国内規制

陸上規制： 消防法・労働安全衛生法・毒物及び劇物取締法に該当する場合は、それぞれの  
該当法律に定められるところに従うこと。  
海上規制情報： 船舶安全法に定められるところに従うこと。  
航空規制情報： 航空法に定められるところに従うこと。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：

湿気、水濡れに注意する。  
破袋、損傷、容器・包装からの漏出、転倒、落下等の荷崩れ防止を確実にを行う。

## 15. 適用法令

- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・ 労働安全衛生法（粉じん障害防止規則）
- ・ 労働安全衛生法 [名称を表示・通知すべき危険物及び有害物]： 該当しない。
- ・ 労働安全衛生法 [リスクアセスメントを実施すべき危険有害物]： 該当しない。
- ・ じん肺法
- ・ 化学物質排出把握管理促進法： 第一種・第二種指定化学物質に該当しない。
- ・ 毒物及び劇物取締法： 該当しない。
- ・ 消防法 該当しない。
- ・ 船舶安全法 該当しない。
- ・ 特定化学物質等障害予防規則： 該当しない。

## 16. その他の情報

本データシートは JIS Z 7253:2019[GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示および安全データシート(SDS)]に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で当社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。記載内容は、現時点で入手できた資料・情報・データなどに基づいて作成したものであり、新しい知見によって改訂されることがあります。本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、当社が知見を有さない危険性、有害性を持つ可能性があります。取扱事業者は本データシートを参考として個々の取扱い、用途・用法などの実態に応じた安全対策を実施のうえ、お取り扱いください。

